京都ゆかりの茶の湯の名品が勢ぞろいした特別展「京に生きる文化　茶の湯」（読売新聞社など主催）が、10月8日から京都国立博物館で開かれます。

読売新聞社は展覧会開催を記念し、茶の湯が生きる古都、京都で400年以上、受け継いできた茶道4宗家の協力のもと、特別企画を実施します。

■表千家北山会館特別展と市民講座

・特別展示解説

千利休の茶の湯を継承する表千家不審菴。江戸時代前期にその基盤を築いて千家茶道を確立し、紀州徳川家に茶堂として仕官した4代家元江岑宗左の350回忌を記念し、特別展「三千家のはじまり 江岑宗左と千家茶道の確立」が、10月8日から表千家北山会館（京都市北区、北山通、植物園北側）で開かれます。

特別展の会期中、江岑宗左の茶の湯、道具、三千家の成立とその時代、紀州徳川家との関わりをテーマとした「茶の湯文化にふれる市民講座」と「家元内弟子による特別展示解説」が開催されます。

【市民講座】①11月3日（木・祝）午後2時～3時30分、渡辺潤・家元教授＝写真右＝が「江岑宗左と紀州徳川家」②同27日（日）同時間帯、熊倉功夫・MIHO MUSEUM館長＝同左＝が「三千家の成立と江岑宗左」をテーマに講演します。1回1500円（入館料別）。定員各180人（応募多数の場合は抽選）。オンライン受講は定員なし。

【特別展示解説】10月20日（木）午前10時、午後1時から各90分。1回1500円（入館料別）。定員各60人（応募多数の場合は抽選）。

【特別展】10月8日（土）～12月18日（日）午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで、月曜休館、ただし10月10日は開館し、11日は休館。同20日は特別展示解説申込者のみ）。入館料＝一般1200円、大学生1000円、高校生500円、中学生以下無料（いずれも呈茶を含む）。

申し込みは、大阪よみうり文化センター（06・6361・3325）または表千家北山会館（075・724・8000）へ。

現地探訪＆イベント

■五条大橋界隈の個性派建築、鶴清と洛東遺芳館を訪ねる

昭和初期の姿を今に残す木造3階建て大型楼閣建築の料理旅館、鶴清。重厚な唐破風を施した玄関と五条大橋をイメージした赤い欄干の橋が特徴で、200畳の大広間や元喫茶室に残るステンドグラス、凝った意匠を施す個性的な客室などが魅力です。江戸時代の京の豪商、柏原家の住宅遺構である洛東遺芳館も訪ねます。建物は幾多の火難を逃れ、数百年来の商家の体裁を保っています。柏原家の江戸時代からの伝承品で、婚礼調度・絵画・浮世絵・工芸品・古書古文書等が展示される特別公開に合わせて訪問します。10月4日（火）午後0時30分に京阪清水五条駅改札口前集合、3時頃解散。3520円（資料、イヤホンガイド代含む）、見学料2300円別。

料理旅館の鶴清

▼「現地探訪&イベント」申し込み　ファクス（06・6361・3327）か電話（06・6361・3325）、メール（honbu@oybc.co.jp）で。

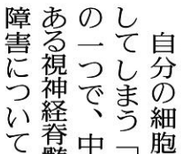
読売健康講座 オンライン　＊　無料

ライブ配信

■視神経疾患難病セミナー～早く見つけて、早く治療、視神経脊髄炎スペクトラム障害とは～

9月25日（日）午後2時～3時

自分の細胞を間違って攻撃してしまう「自己免疫疾患」の一つで、中枢神経の病気である視神経脊髄炎スペクトラム障害について、兵庫県立尼崎総合医療センター脳神経内科部長の影山恭史さんを聞き手に迎え、関西医科大学総合医療センター脳神経内科教授の近藤誉之さん＝写真右＝が早期発見、早期治療について解説。さっぽろ神経内科病院看護部外来師長の宿南澄恵さん＝同左＝が、「看護外来で看続けた視神経脊髄炎スペクトラム障害の患者さんの横顔」をテーマに話します。



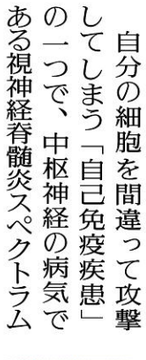
共催＝田辺三菱製薬
後援＝読売新聞大阪本社

オンデマンド配信

■中高年の『あし』の痛みの話～健康寿命の延伸を目指して～

配信日＝9月30日（金）まで

関西医科大学香里病院整形外科部長の上田祐輔さん＝写真右＝が「ロコモ・フレイル予防を見据えた人工関節手術の選択」をテーマに解説し、同院リハビリテーション科理学療法士の和田貴仁さん＝同左＝が「年齢に負けない強い足腰の作り方」をテーマに実技を交えて話します。



後援＝読売新聞大阪本社

▶オンライン申し込み　ホームページ（https://www.oybc.co.jp）、または2次元コードからアクセスし、申し込みフォームに必要事項を入力してください。申し込みが完了すれば、受付確認メールが自動で返信されます。問い合わせは本社（06・6361・3325）へ。

大阪よみうり文化センター

Osaka Yomiuri Bunka Center

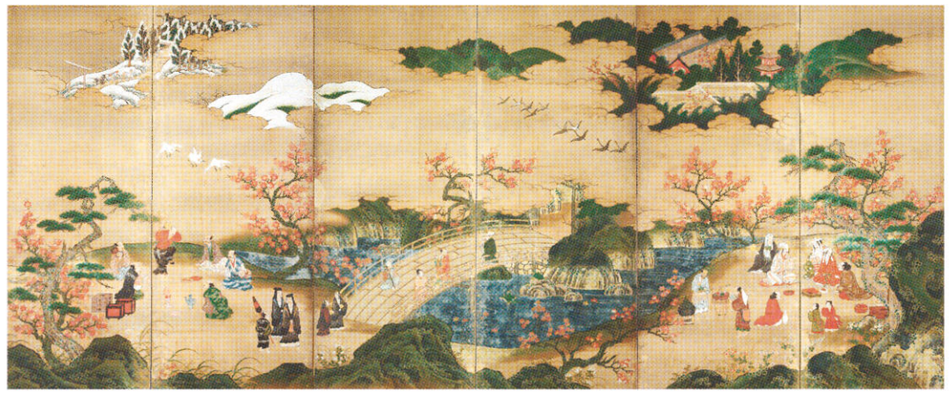
学ント MANANTO

京大宇宙落語会in大阪
宇宙入門～とんでもなくおもしろい宇宙～

ライブ&生中継オンライン配信のハイブリッド落語会

来場（自由席）3000円、オンライン2500円

申し込み▶06・6361・3325（平日午前10時～午後5時）
オンラインは、2次元コードからも申し込みできます。



国宝「観楓図屏風」　狩野秀頼筆（東京国立博物館蔵）〈展示期間：10月8日～23日〉（画像提供・東京国立博物館）

京大卒の落語家、桂福丸さん＝写真＝と京大名誉教授で同志社大特別客員教授の柴田一成さんが繰り広げる愉快な宇宙セミナーです。今回は望遠鏡のスペシャリストによる星空観察入門講座を併催します。

9月19日（月・祝）午後1時～3時30分、ギャラリーよみうり（大阪市北区野崎町、読売大阪ビル地下1階）。

撮影　佐藤　浩

申し込みの2次元コード

高槻

■幕末の実像と謎に迫る

幕末の動乱や明治維新から150年以上がたち、再検証しようという動きが活発になっています。幕末維新に活躍した偉人や事件を取り上げ、謎の多い幕末の真実に迫ります。講師は霊山歴史館学芸課長の木村武仁さん＝写真＝。

▽10月16日「維新の三傑・大久保利通の生涯」▽11月20日「新選組と鳥羽伏見の戦い」▽12月18日「榎本武揚と箱館戦争」いずれも日曜午後1時30分～3時。9570円（3回分、資料代含む）。

■写真みたいな絵が描ける色鉛筆画

写真にしか見えない！SNSやメディアで話題の、色鉛筆画家6人のユニット「イロドリアル」代表のぼんぼんさんが、絵をいたことがない人でも、写真のように描ける色鉛筆画を指導します。お気に入りの色鉛筆で、下絵の基本から応用技まで幅広く学んでみませんか。描き方テキストがあるので、安心して受講できます。毎月第2、第4火曜午後1時～3時30分。1万6500円（3か月分）。

まるで写真のような色鉛筆画

《体験》9月13日、または27日のいずれも火曜同時間帯1430円。

※お手本を見るための、メール受信ができるスマートフォンかタブレットが必要です。

吹田　健都レールサイド公園ライブラリー

■魅力度アップ！メイクレッスン～今すぐ実践！美人眉メイクを学ぼう～

年齢を重ねると顔の印象も変わっていきます。顔の印象を大きく決める重要なパーツ「眉」のメイクを学びます。講師はメイクアドバイザーの山口純子さん。9月24日（土）午後1時30分～3時30分。参加費1000円と教材費500円。

＊

「健都レールサイド公園・吹田市立健都ライブラリー」（大阪府吹田市岸部新町2の31、指定管理者＝健都パークライフ創造パートナーズ）の文化講座運営に、大阪よみうり文化センターが協力しています。吹田市民以外の方も申し込めます。電話（06・6388・3800、午前9時～午後9時、毎月最終木曜日は休館）。ファクス（06・6105・9102）で。